

長期休暇における情報セキュリティ対策 ～経営者&システム管理者向け～



長期休暇中は、いつもと違う状況となり、会社でセキュリティインシデントが発生したときに、対応が遅れたり、思わぬ被害が発生するおそれがあるニャ！しっかり対策をとるニャ

長期休暇前の対策

- 緊急連絡体制の確認**
不測の事態が発生した場合に備えて、委託先企業を含めた緊急連絡体制や対応手順等が明確になっているか確認してください。
- 社内ネットワークへの機器接続ルールの確認と遵守**
長期休暇中にメンテナンス作業などで社内ネットワークへ機器を接続する予定がある場合は、社内の機器接続ルールを事前に確認し遵守してください。
- 使用しない機器の電源OFF**
長期休暇中に使用しないサーバ等の機器は電源をOFFにしてください。

長期休暇明けの対策

- 修正プログラムの適用**
長期休暇中にOS（オペレーティングシステム）や各種ソフトウェアの修正プログラムが公開されている場合があります。
- 定義ファイルの更新**
電子メールの送受信やウェブサイトの閲覧等を行う前に定義ファイルを更新し、最新の状態にしてください。
- サーバ等における各種ログの確認**
何らかの不審なログが記録されていた場合は、早急に詳細な調査等の対応を行ってください。

**もしも被害に遭ってしまったら
最寄りの警察署に通報・相談を！**

